

臨時代表者会議 議事録

2008年9月7日(日)中央公民館 大会議室

出席

保育課 斉藤課長、須田主幹

福祉公社 大野主幹、樋川氏

父母(順不動)

武里西、粕壁、武里、内牧、豊野、備後、小淵、上沖、緑、八木崎、立野、幸松、藤塚、豊春

司会：遠藤

記録：寺田

1. 代表あいさつ(立野 小川)

父母会、市、福祉公社がお互いに理解しあっていない点がある。父母会の中でもわかっている人、いない人がいる。三者三様だが、相互に協力して子どもたちの事を考えていく必要がある。この機会に理解を深めていきたい。議員にも呼びかけていくべきだと思う。

2. 出席確認&自己紹介

(出席者全員、クラブ名と名前を自己紹介)

3. 保育課より(配布資料参照)

(斉藤課長)

これまでは、全体のクラブとの意見交換の場が無かった。この様な場を定期的に設けたいと思う。今ある問題を、父母の意見を聞きながら一つ一つ解決して行きたい…最終的には議会の承認を得て決定となるのであるが。市民の目線で、どうすればよいかを考えていくつもり。

1) 基本的な考え方と目的(斉藤課長より)

働きながらの子育てが安心してできるようにという願いから、学童保育は生まれた…自分の子ども2人も立野(民設時代)でお世話になった。学童保育は人間形成が育まれる場だが、民設時代は設備としての環境は良くなかった。10年前に市内全小学校に公設学童保育が設置された。子ども達の健やかな成長のために、市、公社、保護者が協力して運営していくものであると思っている。

平成18年に指定管理者制度導入。公社に随意指定となった。庄和は元々直営だったが、平成20年4月から指定管理者制度導入、春日部と同じになった。指定期間は旧春日部、庄和共に今年度で終了し、新たな指定先更新となる。これまでの保育が維持されるように配慮したい。

放課後児童クラブの運営は、根本的に市の責任で行い、指導員の採用や運営全般については公社が責任を持つ。

年々利用者が増加(毎年約5%)している。現在22クラブ。昨年厚生労働省よりガイドラインが示された。平成12年に地方自治法が改正され、国からの支持が強制的なものではなく、指針のようなものになった。従ってガイドラインに強制力は無いが、春日部市としては主体的に考えていきたい。特に大規模化の問題については、現在すべての現場を視察して検討している。

(大規模化への)今後の対策としては、

- ・学校の余裕教室を借りる。
- ・余裕教室が無い場合は、専用施設を作る。
- ・施設を作る場所が無い場合は、近隣の場所を借りる。
- ・施設は、大規模なら分割、小規模なら教室増などで対応する。
- ・具体的には・・・

幸松・・・別棟を建てる、小淵・豊野・・・隣の教室を使用、など。

2) 経費および指定先更新について(須田主幹より)

指定先への仕様書は、前回(庄和4クラブの指定公募時、資料参照)と同じの予定(但しおやつ代の集金については旧春日部の現状に順ずる)

・経費説明(資料参照)

保育料は98.65%の回収率。

・委託費用(資料参照)

・委託先決定までの流れ。

Q & A（父母・・・参加父母より、市・・・保育課より、公社・・・福祉公社より、事務・・・事務局より）

（父母） 指定先への仕様書は選定委員会発足後に公表か？

（市） これから原案を作成。

（父母） 経費の中で、福利厚生費の内容は？

（市） 指導員の社会保険、退職手当、労働保険の事業者負担分など。

（父母） 定員70名を超えると補助金が出なくなるというのは？

（事務） 国が放課後児童対策として「放課後子どもプラン」を推進中。厚生労働省が放課後児童クラブを管轄。この中で、放課後児童クラブを適正な規模にする様、要請している。大規模クラブへの補助金廃止は、これを推進するための手段として導入された。趣旨は理解できるし、規模の適正化は必要だが、このために定員を減らしたり高学年が追い出されるなどの問題を憂慮している。

（父母） 選定委員のメンバーは？

（市） 市の職員。

（父母） 父母会が関与できないのか？

（市） 指定管理者制度の導入手続きは市の制度（行政課、導入指針）になっていて、変えられない。選定にかけるまでの段階で、父母の意見を取り入れる。

4．福祉公社より（大野主幹）

- ・指導員の採用基準・・・仕様書の3．業務内容に盛り込まれている（公社には変えられない）
- ・募集方法&時期・・・欠員になったら募集。入室児童に合わせて。
通常広報で。今回は（各クラブに）張り紙なども行った。
- ・内規の変更・・・2年以内に復職の場合は試験免除。
- ・指導員の配置基準・・・原則25名に1名（明文化されていないが、慣例で維持）。
障害児については加配。
- ・勤務体制・・・緊急時に対応できる事を考慮。
- ・研修制度・・・市主催は年1回、研修部会（指導員）が検討して講師を呼び、実施。
その他、救急法（市立病院、消防署など）新人研修を毎年実施。
今年から、臨時職員への研修を開始。
他団体（県や国の学童保育連絡協議会）主催の研修へは、1人年1回以上自主的に参加。
- ・安全管理・・・防災訓練の実施、児童の健康チェックなど。

Q & A

（父母） 研修の時間はいつ確保しているのか？

（公社） 火曜日の勤務は9時から。市主催の研修は火曜の9～11時を使用して実施。
他団体の研修は主に日曜日。

（父母） 臨時職員の資格は？

（公社） 無い。応募者に職場（児童クラブ）を見学してもらって、OKなら採用。

（父母） 今年の夏休み、登校日が中止になったが、児童クラブには連絡が無かった。連絡体制が無いのか？

（公社） 体制はある。学校側が忘れたのだと思う。

（父母） 公社の裁量で行えるのはどこまでか？ 要望は市と公社どちらに訴えればよいのか？

（市） 設備や修繕など、大きなものは市。日常の運営に関する事は公社。

(父母) 大野さん、樋川さんの人件費など、一般管理費が委託料に入っていないのはおかしいのでは？

(市) 今までは、入っていなかった。次回からは委託費に含める事になる。

5 . テーマ討議

指定管理者制度について

(父母) コスト削減、利便性向上が目的。直営にするか指定管理にするか2者択一の選択だったが、春日部は直営は無理ということで結果的に随意指定となった。現状指定管理にするメリットは出ていない。

とはいえ、保育環境が変わることを父母は望んでいない。来年も随意指定でお願いしたい。また、仕様書を確定する前に父母の意見を取り入れて欲しい。また選定委員会に出席させて欲しい。

(市) 保育の継続性は重要視している。(選定委員会へ) 委員として出席はできないが、案の中に意見は取り入れていく。重要なのは、市として保育をどう考えるかだと思う。財政上の制約や、父母以外の声もあるが、利用者の意見は大切にしている。

(父母) 課長が代わってしまったら方針も変わってしまうのは困る。

市の方と直接話したのは初めてで、前の課長が誰かも知らない。

市からの説明を聞いたことも無く、どちらかといえば不信感があった。

(市) 異動しても、検討結果が文書に残るので心配は無い。

一度市で制度化すればそれが継続できる。庄和も加えて、自分の在任中に実現したい。立場の違いはあるが、父母の要望に答える形で努力する。

(父母) 公社は来年は無くなるのか？

(市・公社) 公社は今年度で解散。事業は社協(社会福祉協議会) に引き継ぐ。

(父母) 全ての事業を引き継ぐのか？ それは確定事項？

(市・公社) 確定(9月25日、社協、公社トップと市長の三者で決定)。名前が変わるだけ。

(父母) 公募したら複数の応募があると思われるか？

(市) もし随意指定になれば社協のみ。(注：随意指定については未確定)

保育所については、実績のある民間団体もたくさんあるが、児童クラブはまだ民間企業などでの実績が少ない。

大規模化について

(市) 5年先の児童数を予測して、オーバーしそう(1~3年生)なところを整備していく計画。H22までに整える。増設により、基本的には高学年も受け入れられるようにしたい。但し、ガイドラインの一人当たり面積(1.65m²)のクリアは難しい。豊野、小淵、幸松の増設は決定。

(父母) 市の予算(他の支出を含む)はどうなっている？

(市) 年間500億程度。他にも支出が増えている。

(父母) マンション建設の計画などを早めにキャッチして予測してください。

(市) 業者には早く出してもらおうようにしている。

(父母) 小淵の増設は2部屋になる？

(市) クラブは1つ。2教室を使う。

今のところ70人以内なので補助金廃止の問題は無い。

指導員の不足について

(公社) 八木崎には1人配置(現在4人)、立野には幸松から一時異動、幸松に1人配置している。

(父母) (指導員の手が足りないという事を) 指導員から聞いているのか？

- (公社) 児童数と配属で分かる。問題があれば柔軟に対応する。
- (父母) 幸松に配置の人はそのまま？
(公社) 10月いっぱい立野と交代。
- (父母) 登校日の連絡について、校長にお願いして欲しい。
(公社) 教育委員会にお願いしていく。
- (父母) 臨時職員の研修についてはどうなっている？
臨時職員にトラブルがあったので・・・。
(公社) 子育て経験のある人にお願いしている。
今まで無かったが、今年度から研修会を行う予定。
- (父母) 病気や怪我、退職などで誰かが居なくなるとすぐに人手不足になってしまうのは困る。
もっと余裕を持って人員を確保して欲しい。
(公社) 今年度は庄和との統合があり、特に厳しかった。
今回、補充募集で合格者は3人、うち1人は登録のみとなっている。
- (父母) 豊野の増設に感謝します。高学年も退室者無く、大変有り難い。
現在定員以上の人数なので、父母にも協力をお願いしている。
指導員の配置もお願いします。
(父母) 小淵も増設ありがとうございました。
- (父母) 指導員の仕事の厳しさ、給料面等も考えてもらいたい。
(市) 1年目13万2千円。2000円ずつ毎年上がる。
(父母) 公設開始9年目に調べた時、全部で38人の退職者があった。うち19人が転職・・・
つまりもっと良い仕事に移った。ゆとりと誇りを持って長く働けるよう、待遇の改善
をお願いしたい。春日部の指導員だけが安いというわけではなく、社会全体に言える
事だが、教員や保育士などと比較すると条件が悪過ぎる。

6 . その他

- (市) インターネットの書き込みについて、何か異常を見つけた時はお知らせください。
(父母) 学校のHPにもあったので不安。そんな世の中だから、やはり高学年も受け入れをお
願いします。
- (市) 今日は大変良い機会となった。ぜひ、子どもと過ごす1日1日を大切にしてください。
- (事務) 今日はありがとうございました。各クラブ父母会での報告よろしく願いします。
意見等ありましたらどんどん出してください。今後ともご協力よろしく願いします。

次回 第2回代表者会議 10月18日(土)
主な議題：予算への要望について

以上